



議会 ニュース

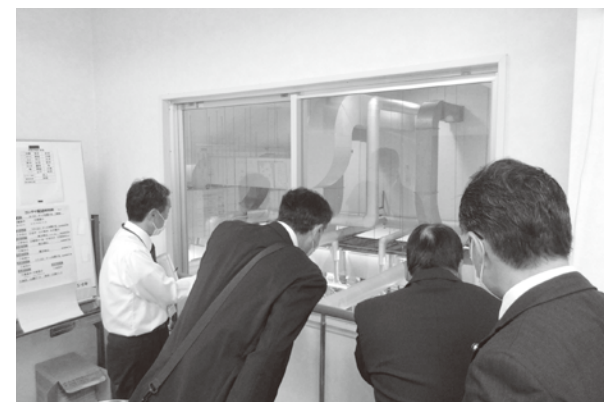


高梁学校給食センター を視察

総務文教委員会は、4月26日に管内行政視察で高梁学校給食センターの視察を行いました。

昨年12月に高梁市立学校給食センター再編検討委員会から提言書が提出されており、その中には令和8年4月から高梁と川上の学校給食センターを統合することや民間委託の導入を実施することが盛り込まれていました。

総務文教委員会としては、現状と課題を正しく認識するために現場を視察し、職員から説明を受けました。センター



高梁学校給食センター

の統合と並行して、市内小中学校の再編の動きがあるため、今後現場を中心に検討を十分に重ね、進められることを要望しました。

川上畑地かんがい施設 と弥高山公園などを視察

産業経済委員会では、5月1日に川上畑地かんがい施設、弥高山公園および旧高山小学校の視察を行いました。

川上地域局で農林課の職員から、畑地かんがい事業について経緯と経過、現在抱える問題点の説明を受けて、今後の事業継続に向けた取り組みの基本方針と具体的手法について意見交換を行いました。その後、本谷揚水機場、大竹ダム、高山浄水場を視察しました。受益者の減少、受益地の耕作放棄地化など、社会情勢の変化に伴う厳しい運営状況、また近年の電気代の高騰などですます厳しい運営を強いられています。農業振興において不可欠の施設であることを確認しました。

次に弥高山公園ですが、視察で感じたのは17ヘクタールもある広大な施設がよく管理されていたことであり、ツツジが



大竹ダム

順次咲き乱れる時節でもあり素晴らしい光景でした。「コロナ禍の中でキャンプ場利用者などの落ち込みはあったものの、近年のアウトドア志向で以前からの利用者数に回復基調にあるとのことですが、施設の老朽化が進んでおり、特にトイレの水洗化が必要です。



旧高山小学校

総務文教委員会 で 鹿島市と唐津市を視察

総務文教委員会は、5月14日・15日に管外行政視察で佐賀県鹿島市と唐津市を訪問しました。

佐賀県鹿島市では、既存施設の改修無しで、給食の配送と調理部門を民間委託されています。

昭和55年から稼動する施設は経年劣化は否めませんでした。が、鍋などの器材を必要最低限に抑え、調理員の作業動線をしっかりと確保し、加えて委託業者の徹底した衛生管理が行われていました。

人事では、委託に伴い調理員は全員一般職に任用替えし、委託業者への転職者はゼロです。徹底した衛生管理と時間管理によって人件費の削減も可能となりました。

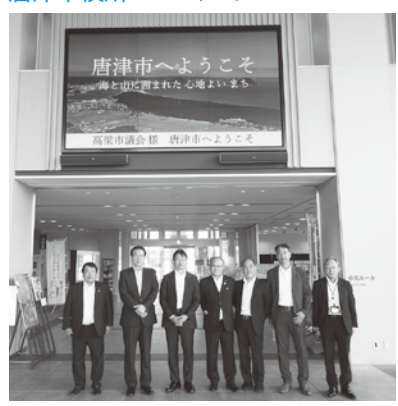
次にふるさと納税の全国でも上位の寄附額および寄附件数を積み上げられている唐津

市では、自治体間の競争も激化傾向にある中、中間業者の市内での内製化を図るとともに、地域商材に精通した職員を育成することが、高梁市のふるさと納税寄附額の積み上げにも必須の課題だと強く認識したところです。



鹿島市の学校給食センター

唐津市役所ロビーにて



産業経済委員会 で 飛騨市と日進市を視察

産業経済委員会では5月13日・14日に岐阜県飛騨市と愛知県日進市で管外行政視察を行いました。地元食材の魅力発信に取り組む飛騨市では、黒毛経産牛（子牛を生む役目を終えた母牛）を飛米牛（ひめぎやう）の名前で販売しています。安定した肉質と味わい深い赤身が特徴であり、東京の銀座や麻布の料亭、ヨーロッパに輸出するほか、ふるさと納税返礼品としても利用され評価を得ています。また、市内の農家と飲食店をつなぐ「飛騨市まるごと



日進市での視察風景

食堂」も実施しています。

日進市では、子育て中の女性を対象に「ショートタイムワーク」を推進しています。市内にある建設業者が協力し、現在は3名がリモート勤務しています。遠距離や短時間勤務でもコミュニケーションの取れる環境を整え、関係性を構築することができれば、有益な働き方として活用できるということを実感しました。



飛騨市の公設産直ショップ

「議会だより第58号」2ページ、緑色の枠内「シテップロモーション推進事業」の説明文において、予算額を「約1400万円」としてありますが、こちらは誤りです。正しくは「約140万円」です。訂正して、お詫び申し上げます。

お詫言正